

大分県きのこ生産資材高騰対策事業実施要領

令和6年3月7日 林産第997-1号伺定

第1 趣旨

大分県きのこ生産資材高騰対策事業は、きのこ生産体制の維持・確保を図りつつ、海外に依存する燃油や資材の価格高騰や供給難の影響を受けにくい経営構造に向けた体質強化を推進するものである。

第2 事業の内容等

事業内容、事業実施主体及び採択基準等は、別表1のとおりとする。

なお、本要領に定めるほか、次に掲げる国庫事業の要綱要領（以下「国要綱要領等」という。）に定められたものとする。

- ・林業・木材産業国際競争力強化総合対策等地方公共団体事業費補助金交付等要綱（令和4年12月2日付け4林整計第428号農林水産事務次官依命通知）
- ・きのこの生産資材導入支援実施要領（令和4年12月23日付け4林政経第827号-1林野庁長官通知）

第3 事業実施計画の認定申請等

- 1 事業実施主体は、事業実施計画承認申請書（第1号様式）を所轄の県振興局長を経由して、知事に申請するものとする。なお、次に掲げる書類を添付し、知事が別に定める期日までに知事に提出しなければならない。
 - (1) 取組計画書（別紙1）
 - (2) 生産コスト低減等実施計画書（計画チェックシート）（別紙2）
 - (3) 前年生産量及び年間平均生産量を証明する書類
 - (4) きのこの販売収入が事業収入の過半を占めることを証明する書類
 - (5) 種駒購入証明書（対象品目が原木栽培の場合）
 - (6) 菌床購入証明書（対象品目が生しいたけ（菌床購入）、えのきたけ（菌床購入）の場合）
 - (7) その他知事が必要と認める書類
- 2 知事は事業実施計画の内容を審査し、適当と認めるときは、事業実施主体に対し予算の範囲内で内示する。
- 3 事業実施主体は、事業実施計画について変更する場合は、事業実施計画変更承認申請書（第2号様式）を提出し、知事の承認を受けなければならない。
- 4 知事は、次に掲げるいずれかに該当し、3の事業実施計画変更承認申請を行う必要がないと認めるときはその一部または全部を省略することができる。
 - (1) 事業実施計画の事業費のみの変更で補助金の増額を伴わない場合
 - (2) その他知事が認める場合

第4 助成措置

県は、予算の範囲内において、事業実施主体がこの要領に基づき事業を実施するのに要する経費を補助するものとする。

第5 事業完了検査

1 検査員の任命

完了検査は、知事又は振興局長が任命した検査員が行うものとする。

2 検査の時期

知事又は振興局長は、事業実施主体から実績報告書の提出を受けたときは、すみやかに補助金交付決定の内容及びこれに付した条件との適合について、書類検査により完了確認検査を実施するものとする。

3 検査報告

事業完了検査を終了したときは遅延なく事業完了確認検査調書（第3号様式）により知事又は振興局長に報告するものとする。

第6 事業実施状況の報告

1 事業実施主体は、令和7年10月末日までに、取組報告書（第4号様式）に生産コスト低減等実施実績報告書（実績チェックシート）（別紙3）及び生産量を証明する書類を添付し知事に提出しなければならない。

2 知事は、その内容について適切なものであるか、現地確認を行うこととする。確認の結果、取組が適切に行われていないと判断した場合には、事業主体に対し、再度適切に実施するよう指導する。

なお、現地確認は対象者数の5%以上を抽出し実施するものとする。

第7 証拠書類の保存

事業実施主体は、以下に掲げる書類を作成又は収集し、補助金の交付を受けた日の属する年度の翌年度から起算して5年間保管するとともに、知事から求めがあった場合は、その書類又はその写しを提出しなければならない。

(1) 生産コスト低減等実施計画書（計画チェックシート）（別紙2）及び生産コスト低減等実施実績報告書（実績チェックシート）（別紙3）の取組を実施したことが確認できる書類（作業日誌、写真等）

(2) 事業実施主体のきのこの販売収入が事業収入の過半を占めることを証明する書類（決算書、確定申告書等）、申請等に提出した生産量の算出根拠となる資料（出荷伝票等）

第7 補助金の返還

補助金の交付を受けた事業実施主体が、補助金の交付要件を満たさないこと等が判明した場合には、以下に掲げる基準により、当該補助金の返還を求めるものとする。

(1) 交付要件を満たさないことが確認された場合には、交付された補助金のうち、要件を満たさないことが確認された経費の返還を求めるものとする。

(2) 虚偽申告等の不正や悪質な事案があった場合には、補助金の全部又は一部の返還を求めるものとする。

(3) 取組実施者の令和6年度又は令和6年の生産量かつ生産額が前年に比べ3割以上減少した場合には、補助金の全部又は一部の返還を求めるものとする。

(4) (1) から (3) までの返還については、自然災害等の取組実施者の責めに帰することができない事由により、きのこの生産コスト低減等実施計画書に定められた取組が行われなかったこと又は取組実施者の令和6年度若しくは令和6年の生産量及び生産額が前年に比べ3割以上減少したことが確認できる場合には、

その対象としないことができるものとする。

第9 その他

この要領に定めるもののほか、この事業の実施に必要な事項は、国実施要綱要領及び知事が別に定めるところによる。

附 則

この要領は、令和5年度の予算に係る大分県きのこ生産資材高騰対策事業から適用する。

別表 1

事業内容	事業実施主体	採択基準
生産資材 高騰対策	<p>自らきのこ生産を行う市町村、森林組合、森林組合連合会、生産森林組合、農業協同組合、農業協同組合連合会、農事組合法人及び民間事業者（中小企業基本法第2条第1項第1号に該当する者に限る。以下同じ。）であつてきのこの販売収入が事業収入の過半を占める者</p> <p>※原木しいたけ生産者の要件 令和5年度に3万駒以上植菌した者</p>	国要綱要領の定めによるものとする
補助金の額の算定方法等		
<p>(次期生産量の算定の仕方)</p> <p>補助金額の算定に使用する次期生産量は、次の①又は②のいずれか低いものとする。</p> <p>① 令和5年度又は令和5年の生産量</p> <p>② 事業実施主体における令和2年度から令和4年度まで又は令和2年から令和4年までの年間平均生産量</p> <p>なお、複数品目を生産しており、複数品目の合計生産量が①>②の場合、品目毎の①生産量に②/①を乗じて補正する。</p> <p>ただし、②において、生産量が災害その他やむを得ない事由により前年に比べ3割以上減少した年度及び年又はきのこ生産を開始した年がある場合は、当該年を除いて年間平均生産量を算出することができる。</p> <p>また、令和4年度又は令和4年に生産を開始するなど、年間平均生産量が算出できない場合は①を次期生産量とする。</p>		

第1号様式

年度大分県きのこ生産資材高騰対策事業実施計画承認申請書

第 年 月 日
号

大分県知事 殿

(申請者) 住所
氏名

(申請者が個人以外の場合、以下を記載)

担当者：

電話番号：

年度大分県きのこ生産資材高騰対策事業実施計画について、下記のとおり作成したので、大分県きのこ生産資材高騰対策事業実施要領第3の1の規定により申請します。

記

1. 添付書類

- (1) 取組計画書 (別紙1)
- (2) 生産コスト低減等実施計画書 (計画チェックシート) (別紙2)
- (3) 前年生産量及び年間平均生産量を証明する書類
- (4) きのこの販売収入が事業収入の過半を占めることを証明する書類
- (5) 種駒購入証明書 (対象品目が原木栽培の場合)
- (6) 菌床購入証明書 (対象品目が生しいたけ(菌床購入)、えのきたけ(菌床購入)の場合)
- (7) その他知事が必要と認める書類

取組計画書

1. 対象生産量

品目 A	次期生産量の査定					
	前年生産量		平均生産量		次期生産量	次期生産量(補正)
	(R5年次又はR5年度) B (kg)		(R2~4 過去3ヶ年平均) C (kg)		<一品目の場合> B又はCの いずれか低い量 D (kg)	<複数品目生産しており、 計B①>計C②の場合> 品目毎B×②/① E (kg)
	平均		平均			
	年度	R5	年度	R2 R3 R4		
合計	①		②			

- ※ 前年生産量及び平均生産量の比較基準期間（年度または年次）は同一であること
- ※ 前年生産量及び平均生産量の算出根拠となる資料（出荷伝票等）を提出すること。
- ※ 年間平均生産量は、令和2年度から令和4年度まで又は令和2年から令和4年までの年間平均生産量を記入する。ただし令和2年度から令和4年度又は令和2年から令和4年までの間に、生産量が災害その他やむを得ない事由により前年より3割以上減少した年又はきのこ生産を開始した年がある場合は、当該年を除いて年間平均生産量を算出することができる。
また、令和4年度又は令和4年に生産を開始するなど、年間平均生産量が算出できない場合は、前年生産量を年間平均生産量とする。

2. 事業実施主体要件の確認

要件	チェック欄 (該当する場合○を記載)
きのこの販売収入が事業収入の過半を占める	
令和5年度に3万駒以上植菌している（対象品目が原木栽培の場合）	
菌床を購入している（対象品目が菌床購入の場合）	

- ※ きのこの販売収入が事業収入の過半を占めることを証明する資料（決算書、確定申告書等）を提出すること。
- ※ 令和5年度の植菌数は、令和6年春に植菌した数量とする。
植菌数量を証明する資料（種駒販売証明書等）を提出すること。
- ※ 菌床購入を証明する資料（菌床購入証明書等）を提出すること。

3. 誓約・同意事項

事業実施主体は、補助金申請にあたって次の事項を誓約・同意するものとする。

以下の内容について誓約・同意する	チェック欄 (○を記載)
1 本事業に係る報告や立入調査について、都道府県知事や林野庁長官等から求められた場合に応じます。 2 取組を実施したことが確認できる書類等の証拠書類について、補助金の交付を受けた年度の翌年度から5年間保管し、都道府県知事又は林野庁長官等から求められた場合は提出します。 3 以下の場合には、補助金を返還すること、又は交付されないことに異存ありません。 ア 取組計画書及びその他の提出書類において、虚偽の内容を申請したことが判明した場合 イ 正当な理由がなく、取組計画書に記載した取組を実施していないことその他実施要領第7に定める補助金の交付要件を満たさないこと等が判明した場合 (注) 誓約・同意事項の内容を確認の上、チェック欄に○を記載すること。	

生産コスト低減等実施計画書（計画チェックシート）

事業実施主体名	対象品目	チェック時期
		令和 年 月

記載方法

【入力結果】

- 1 : 【A 令和4年度までの取組】欄に、実施してきた取組メニューに「○」を記入してください。
- 2 : 【B 令和5-6年度までの取組】欄に、実施する取組メニューに「○」を記入してください。
- < 1. 原料の国産化に向けた取組>は必須です。 個
- なお、具体的な取組内容を記載してください。
- < 2. コスト低減に向けた取組>は、取組メニューが15個以上必要です。 個
- なお、そのうち2つ以上は、新しい取組、従来の取組強化・拡大が必要です。
- 新しい取組、従来の取組強化・拡大に関する取組メニューには「◎」を記入してください。 個

1. 原料の国産化に向けた取組		チェックポイント	令和4年度までの取組	令和5-6年度までの取組
■ 原料の国産化（必須）				
生産に使用する原材料の国産化を図っていますか				
・ 取組の具体的な内容				

2. コスト低減に向けた取組		チェックポイント	令和4年度までの取組	令和5-6年度までの取組
■ 菌床栽培				
1 菌床殺菌時に対象に応じた殺菌時間を設定していますか				
2 殺菌釜内の収容数は適切ですか				
3 殺菌後の冷却時間は適切に管理していますか				
4 菌種の選択にあたり、培養環境、市場性を考慮していますか				
5 菌床材料の保管状況は適切ですか				
6 菌床の含水率は適切ですか				
7 栽培舎への菌床収容数や間隔は適切ですか				
8 栽培施設（培養室、発生棟）の環境条件（湿度・CO2等）を計測していますか				
9 散水・加湿は、適切な量、タイミングで行っていますか				
10 照明にLEDを使用していますか				
11 こまめに消灯するなど点灯時間は適切ですか				
12 製造ロット単位等の菌床ロス率のチェック・改善を行っていますか				
13 作業域内の動線配置が交錯しないようにしていますか				
14 作業域内において作業者の歩行（移動）距離が短くなるよう工夫していますか				
15 作業時間の計測を行っていますか				
16 作業標準を作成していますか				
17 作業に用いる道具類の保管場所は決まっていますか				
18 施設内の整理、整頓、清掃等を定期的に行っていますか				
19 器具機械等のメンテナンスを定期的に行っていますか				
■ 廃棄物管理				
1 廃菌床の他用途への活用を行っていますか(エネルギー、堆肥、飼料等)				
2 廃ほだ木の他用途への活用を行っていますか(エネルギー、堆肥、昆虫飼育材など)				
3 菌床袋、培養ビン等プラスチック資材の廃棄量の削減やリサイクルに取り組んでいますか				
■ 原木栽培				
1 原木の伐期は適切ですか（購入の場合、依頼・確認等していますか）				
2 原木の葉枯らし・乾燥期間は適切ですか（購入の場合、依頼・確認等していますか）				
3 ハラアカコブカミキリ等虫害木の移動を避けるなどの虫害対策を行っていますか				
4 労働力配置や栽培環境、市場性を考慮して菌種を選択していますか				
5 植菌器具機械等の掃除、メンテナンスを適宜（定期的に）行っていますか				
6 植菌数、植菌間隔は適切ですか				
7 伏せこみにあたって、栽培環境に適した組み合わせ方を選択していますか				
8 植菌後のほだ化の様子をこまめに確認していますか				
9 ほだ場の環境条件を計測し、改善していますか(温度、湿度、照度、方角等)				
10 気温、湿度条件に応じた適切な散水を行っていますか				
11 天気予報を確認し作業計画に反映させていますか				
12 ほだ場の選択にあたり自然災害の予防を考慮していますか				
13 ほだ木の天地返しを行っていますか。				
14 ほだ木の遮熱対策を十分講じていますか				
15 発生操作の方法、タイミングは適切ですか				
16 収穫は適切なタイミングで行っていますか				
17 作業路の排水対策を講じていますか				
18 林内作業車等車両系機械のエンジンをこまめに切っていますか				
19 鳥獣被害の予防対策を行っていますか				
20 気温・湿度条件に応じ、ほだ場の環境を整備していますか				
■ 乾燥・加工				
1 乾燥効率の向上に取り組んでいますか(庫内配置の適正化など)				
2 乾燥時間を短縮させる取組を行っていますか(スライサーの導入等)				
3 この種類に応じた乾燥機の温度管理を適切に行っていますか				
4 再度吸湿しないよう乾燥後の取り込みタイミングは適切ですか				
■ 出荷				
1 包装資材の節約・減量化に取り組んでいますか				
2 通いコンテナ等輸送資材の再利用に取り組んでいますか				
3 包装資材の脱プラスチック化に取り組んでいますか				

生産コスト低減等実施計画書（計画チェックシート）

2枚目/全2枚中

		A	B
2. コスト低減に向けた取組		令和4年度までの取組	令和5-6年度の取組
■ 燃油暖房機			
1	燃焼用新鮮空気を取り入れ口を設けましたか		
2	缶体を清掃しましたか		
3	バーナーノズル周辺、ディフューザー、ストレーナー、火炎検出器等を清掃しましたか		
4	バーナーノズルを点検して定期的に交換していますか		
5	ノズルヒーターに不具合はありませんか		
6	エアーシャッターで適正な空気量となるよう調整していますか		
7	長期間保存した燃料を使用していませんか		
8	温湯暖房の場合、缶水の入替え、腐食抑制剤の投入を行いましたか		
9	温風ダクトの漏れや破れはありませんか		
10	オイルタンクの水抜きや配管の漏れを確認しましたか		
■ 木質バイオマス暖房機			
1	貯蔵タンク（サイロ）と暖房機の距離は適切ですか（15m以内）		
2	暖房機本体の設置場所は適切ですか（温室端側の中央部）		
3	燃油暖房機とのハイブリッド運転時の温度設定は適切ですか（燃油暖房機より1~2℃高く）		
4	ダウンシュート対策をとっていますか		
5	燃料の供給経路（サイロ⇒暖房機本体）に異常はないですか		
6	燃料を適切な乾燥状態で使用していますか		
7	（腐ほど暖房機の場合）腐ほど木の乾燥は十分ですか		
8	煙突掃除、燃焼灰の清掃等のメンテナンスをこまめに行っていますか		
■ 空調設備			
1	室外機や室内機周辺の障害物を除きましたか		
2	室外機は北風等の影響がない場所に設置しましたか		
3	（ヒートポンプの場合）デフロスト水の排水、積雪への対策をとりましたか		
4	室外機と室内機をなるべく近くに設置しましたか		
5	電線の太さ・長さ（引込柱～室外機の長さ）は適切にしましたか		
6	（ヒートポンプの場合）ハイブリッド運転時の温度設定は適切ですか（燃油暖房機より2~3℃高く設定）		
7	空調機接続周辺部に被覆の破れや隙間はありませんか		
8	エアフィルターや熱交換器（室内・室外）の清掃を定期的に行っていますか		
■ 温湿度センサー			
1	センサーの先端に水滴が付いたり、壁や内容物に接触したりしていませんか		
2	センサーを栽培棚中央付近など適切な高さに設置していますか		
3	センサーを暖房機や送風ダクトの吹き出し口付近に設置していませんか		
4	センサーの正常な作動を確認していますか		
■ 温度管理			
1	送風ダクトの設置方法（本数、太さなど）は適切ですか		
2	循環扇の設置方法（配置間隔、作物影響など）は適切ですか		
3	温度設定にあたり栽培品目・菌種の適温を確認しましたか		
4	温室内の温度ムラの有無や温度差を適切な方法で確認しましたか		
5	送風ダクトや循環扇を有効に活用して温度ムラを改善しましたか		
6	送気ダクトの内部清掃は適切に行っていますか		
7	施設内の菌床、ほだ木の収容数は適切ですか		
8	夏季に培養棟・発生棟におけるミスト噴霧、屋根散水などの対策を講じていますか		
9	床暖房等に使用する温水ボイラ等の設定温度は適切ですか		
10	換気に熱交換器を利用していますか		
11	天候の変化や日長に合わせて適切に被覆資材の上げ下ろしをしていますか		
■ 外張被覆			
1	被覆資材が汚れていないか確認しましたか		
2	培養棟・発生棟の外張被覆の破れや隙間を点検しましたか		
3	天窓や出入口部の破損や隙間を点検しましたか		
4	被覆資材留具の緩みを点検しましたか		
5	シェード（日除け）の遮光率は適切ですか		
6	高温対策として、シェード（日除け）の2重張りを行っていますか		
7	換気扇シャッターや使用しない出入口の日張り、側面巻き上げフィルムの固定をしましたか		
■ 内張カーテン			
1	培養棟・発生棟に内張（カーテン、固定張り）を設置していますか		
2	保温、断熱性能の高い内張り用シートを利用していますか		
3	内張カーテンを多層化していますか（可能であれば培養棟・発生棟全面）		
4	内張カーテンに破れや隙間がないか点検しましたか		
5	内張カーテン裾部の隙間（膨らみ）を点検しましたか		
6	培養棟・発生棟の出入口付近や妻面は隙間のないように保温対策を行いましたか		
7	多層カーテンでは被覆資材同士の間隔（資材同士が張り付かない）は適切ですか		
8	多層カーテンでは肩部などの隙間対策を行いましたか		
9	自動開閉の場合、開閉させて隙間や開閉動作に問題がないことを確認しましたか		
■ その他			
1	ソーラーパネル等、再エネ導入に取り組んでいますか		
2	販売価格の適正化、生産コストの適切な価格転嫁に取り組んでいますか		
■ その他独自のコスト低減の取組			
	・		
	・		
	・		
	・		
	・		

第2号様式

年度大分県きこの生産資材高騰対策事業実施計画変更承認について

第 号
年 月 日

大分県知事 殿

(申請者) 住所
氏名

(申請者が個人以外の場合、以下を記載)

担当者：

電話番号：

年 月 日付け 第 号で提出した事業実施計画について、下記のとおり変更したいので、大分県きこの生産資材高騰対策事業実施要領第3の3の規定により、関係書類を添えて変更承認申請します。

記

1. 変更理由

2. 添付書類

- (1) 実施計画承認申請書の添付資料のうち内容に変更があるもの
- (2) その他知事が必要と認める書類

(注) 変更の計画書については、当初の計画と容易に比較対照できるよう必要に応じて変更部分を2段書きとし、変更前を括弧書で上段に記載すること。ただし、当該変更の対象外となるところについては省略できる。

第3号様式

年度大分県きのこ生産資材高騰対策事業完了確認検査調書

1 検査員 職 氏名

2 検査年月日 年 月 日

3 検査内容

(1) 事業概要

事業実施主体名	事業内容	補助金額 (円)	備考

(2) 事業完了年月日 年 月 日

(3) 事業費明細

歳 入 状 況				
科 目	予算額(円)	収入額(円)	未収入額(円)	備 考
補 助 金				
計	0	0	0	
歳 出 状 況				
科 目	予算額(円)	支払済額(円)	支払未済額(円)	備 考
資 材 購 入 費			0	
計	0	0	0	

4 証拠書類その他備え付けの書類の整理状況

5 事業の実施状況

6 調査結果の処置並びに指示事項

第4号様式

年度大分県きのこ生産資材高騰対策事業取組報告書

第 年 月 日 号

大分県知事 殿

(申請者) 住所
氏名

(申請者が個人以外の場合、以下を記載)

担当者：

電話番号：

大分県きのこ生産資材高騰対策事業実施要領第6の規定に基づき、関係書類を添えて提出します。

記

1. 生産量報告

前年生産量 (R5年次又はR5年度) kg	事業実施後生産量 (R6年次又はR6年度) kg	備考
年度	年度	

※年度または年次を記載。比較基準期間（年度または年次）は同一であること。

1. 添付書類

- (1) 生産コスト低減等実施実績報告書（実績チェックシート）（別紙3）
- (2) 令和6年度生産量を証明する書類
- (3) その他知事が必要と認める書類

生産コスト低減等実施実績報告書（実績チェックシート）

事業実施主体名	対象品目	

記載方法

【入力結果】

- 1 : 【 A 令和4年度までの取組】欄に、実施してきた取組メニューに「○」を記入してください。
- 2 : 【 B 令和5-6年度の取組】欄に、実施した取組メニューに「○」を記入してください。
 < 1. 原料の国産化に向けた取組 > は必須です。 個
 < 2. コスト低減に向けた取組 > は、取組メニューが 15個以上 必要です。 個
 なお、そのうち2つ以上は、新しい取組、従来の取組強化・拡大が必要です。
 新しい取組、従来の取組強化・拡大に関する取組メニューには「◎」を記入してください。 個
- 3 : 【 C 取組の実施状況】欄に、実施した 具体的な取組内容 を記入してください。

1. 原料の国産化に向けた取組		チェックポイント	A 令和4年度までの取組	B 令和5-6年度の取組	C 取組内容
■ 原料の国産化（必須）					
生産に使用する原材料の国産化を図っていますか					
・ 取組の具体的な内容					

2. コスト低減に向けた取組		チェックポイント	A 令和4年度までの取組	B 令和5-6年度の取組	C 取組内容
■ 菌床栽培					
1	菌床殺菌時に対象に応じた殺菌時間を設定していますか				
2	殺菌釜内の収容数は適切ですか				
3	殺菌後の冷却時間は適切に管理していますか				
4	菌種の選択にあたり、培養環境、市場性を考慮していますか				
5	菌床材料の保管状況は適切ですか				
6	菌床の含水率は適切ですか				
7	栽培舎への菌床収容数や間隔は適切ですか				
8	栽培施設（培養室、発生棟）の環境条件（湿度・CO2等）を計測していますか				
9	散水・加湿は、適切な量、タイミングで行っていますか				
10	照明にLEDを使用していますか				
11	こまめに消灯するなど点灯時間は適切ですか				
12	製造ロット単位等の菌床ロス率のチェック・改善を行っていますか				
13	作業域内の動線配置が交錯しないようにしていますか				
14	作業域内において作業者の歩行（移動）距離が短くなるよう工夫していますか				
15	作業時間の計測を行っていますか				
16	作業標準を作成していますか				
17	作業に用いる道具類の保管場所は決まっていますか				
18	施設内の整理、整頓、清掃等を定期的に行っていますか				
19	器具機械等のメンテナンスを定期的に行っていますか				
■ 廃棄物管理					
1	廃菌床の他用途への活用を行っていますか(エネルギー、堆肥、飼料等)				
2	廃ほだ木の他用途への活用を行っていますか(エネルギー、堆肥、昆虫飼育材など)				
3	菌床袋、培養ビン等プラスチック資材の廃棄量の削減やリサイクルに取り組んでいますか				
■ 原木栽培					
1	原木の伐期は適切ですか（購入の場合、依頼・確認等していますか）				
2	原木の葉枯らし・乾燥期間は適切ですか（購入の場合、依頼・確認等していますか）				
3	ハラアコブカミキリ等虫害木の移動を避けるなどの虫害対策を行っていますか				
4	労働力配置や栽培環境、市場性を考慮して菌種を選択していますか				
5	植菌器具機械等の掃除、メンテナンスを適宜（定期的に）行っていますか				
6	植菌数、植菌間隔は適切ですか				
7	伏せこみにあたって、栽培環境に適した組み方を選択していますか				
8	植菌後のほだ化の様子をこまめに確認していますか				
9	ほだ場の環境条件を計測し、改善していますか(温度、湿度、照度、方角等)				
10	気温、湿度条件に応じた適切な散水を行っていますか				
11	天気予報を確認し作業計画に反映させていますか				
12	ほだ場の選択にあたり自然災害の予防を考慮していますか				
13	ほだ木の天地返しを行っていますか。				
14	ほだ木の遮熱対策を十分講じていますか				
15	発生操作の方法、タイミングは適切ですか				
16	収穫は適切なタイミングで行っていますか				
17	作業路の排水対策を講じていますか				
18	林内作業車等車両系機械のエンジンをこまめに切っていますか				
19	鳥獣被害の予防対策を行っていますか				
20	気温・湿度条件に応じ、ほだ場の環境を整備していますか				
■ 乾燥・加工					
1	乾燥効率の向上に取り組んでいますか(庫内配置の適正化など)				
2	乾燥時間を短縮させる取組を行っていますか(スライサーの導入等)				
3	きのこの種類に応じた乾燥機の温度管理を適切に行っていますか				
4	再度吸湿しないよう乾燥後の取り込みタイミングは適切ですか				
■ 出荷					
1	包装資材の節約・減量化に取り組んでいますか				
2	通いコンテナ等輸送資材の再利用に取り組んでいますか				
3	包装資材の脱プラスチック化に取り組んでいますか				

生産コスト低減等実施実績報告書（実績チェックシート）

2枚目/全2枚中

		A	B	C
2. コスト低減に向けた取組		令和4年度までの取組	令和5-6年度の取組	取組内容
■ 燃油暖房機				
1	燃焼用新鮮空気を取り入れ口を設けましたか			
2	缶体を清掃しましたか			
3	バーナーノズル周辺、ディフューザー、ストレーナー、火炎検出器等を清掃しましたか			
4	バーナーノズルを点検して定期的に交換していますか			
5	ノズルヒーターに不具合はありませんか			
6	エアージャッターで適正な空気量となるよう調整していますか			
7	長期間保存した燃料を使用していませんか			
8	温湯暖房の場合、缶水の入替え、腐食抑制剤の投入を行いましたか			
9	温風ダクトの漏れや破れはありませんか			
10	オイルタンクの水抜きや配管の漏れを確認しましたか			
■ 木質バイオマス暖房機				
1	貯蔵タンク（サイロ）と暖房機の距離は適切ですか（15m以内）			
2	暖房機本体の設置場所は適切ですか（温室端側の中央部）			
3	燃油暖房機とのハイブリッド運転時の温度設定は適切ですか（燃油暖房機より1~2℃高く			
4	ダウンシュート対策をとっていますか			
5	燃料の供給経路（サイロ⇒暖房機本体）に異常はないですか			
6	燃料を適切な乾燥状態で使用していますか			
7	（廃ほど暖房機の場合）廃ほど木の乾燥は十分ですか			
8	煙突掃除、燃焼灰の清掃等のメンテナンスをこまめに行っていますか			
■ 空調設備				
1	室外機や室内機周辺の障害物を除きましたか			
2	室外機は北風等の影響がない場所に設置しましたか			
3	（ヒートポンプの場合）デフロスト水の排水、積雪への対策をとりましたか			
4	室外機と室内機をなるべく近くに設置しましたか			
5	電線の太さ・長さ（引込柱～室外機の長さ）は適切にしましたか			
6	（ヒートポンプの場合）ハイブリッド運転時の温度設定は適切ですか（燃油暖房機より2~3℃高く設定）			
7	空調機接続周辺部に被覆の破れや隙間はありませんか			
8	エアフィルターや熱交換器（室内・室外）の清掃を定期的に行っていますか			
■ 温湿度センサー				
1	センサーの先端に水滴が付いたり、壁や内容物に接触したりしていませんか			
2	センサーを栽培棚中央付近など適切な高さに設置していますか			
3	センサーを暖房機や送風ダクトの吹き出し口付近に設置していませんか			
4	センサーの正常な作動を確認していますか			
■ 温度管理				
1	送風ダクトの設置方法（本数、太さなど）は適切ですか			
2	循環扇の設置方法（配置間隔、作物影響など）は適切ですか			
3	温度設定にあたり栽培品目・菌種の適温を確認しましたか			
4	温室内の温度ムラの有無や温度差を適切な方法で確認しましたか			
5	送風ダクトや循環扇を有効に活用して温度ムラを改善しましたか			
6	送風ダクトの内部清掃は適切に行っていますか			
7	施設内の菌床、ほど木の収容数は適切ですか			
8	夏季に培養棟・発生棟におけるミスト噴霧、屋根散水などの対策を講じていますか			
9	床暖房等に使用する温水ボイラ等の設定温度は適切ですか			
10	換気に熱交換器を利用していますか			
11	天候の変化や日長に合わせて適切に被覆資材の上げ下ろしをしていますか			
■ 外張被覆				
1	被覆資材が汚れていないか確認しましたか			
2	培養棟・発生棟の外張被覆の破れや隙間を点検しましたか			
3	天窓や出入口部の破損や隙間を点検しましたか			
4	被覆資材留具の緩みを点検しましたか			
5	シェード（日除け）の遮光率は適切ですか			
6	高温対策として、シェード（日除け）の2重張りを行っていますか			
7	換気扇シャッターや使用しない出入口の目張り、側面巻き上げフィルムの固定をしましたか			
■ 内張カーテン				
1	培養棟・発生棟に内張（カーテン、固定張り）を設置していますか			
2	保温、断熱性能の高い内張り用シートを利用していますか			
3	内張カーテンを多層化していますか（可能であれば培養棟・発生棟全面）			
4	内張カーテンに破れや隙間がないか点検しましたか			
5	内張カーテン裾部の隙間（膨らみ）を点検しましたか			
6	培養棟・発生棟の出入口付近や妻面は隙間のないように保温対策を行いましたか			
7	多層カーテンでは被覆資材同士の間隔（資材同士が張り付かない）は適切ですか			
8	多層カーテンでは肩部などの隙間対策を行いましたか			
9	自動開閉の場合、開閉させて隙間や開閉動作に問題がないことを確認しましたか			
■ その他				
1	ソーラーパネル等、再エネ導入に取り組んでいますか			
2	販売価格の適正化、生産コストの適切な価格転嫁に取り組んでいますか			
■ その他独自のコスト低減の取組				
	・			
	・			
	・			
	・			
	・			